

Tianjin University of Finance and Economics

天津财经大学

所在地

中華人民共和国天津市河西区珠江道25号
ホームページ: <http://www.tjufe.edu.cn/>

主な対象学部

外国語学部: 語学留学(中)

沿革

1958年創立。天津教育委員会直轄の大学。経済、管理(旅遊学科が含まれる)、文学、理学、工学、法学、教育等の7学部。在校生人数: 17,000名強、留学生数: 500名強。全国で最も早く外国の大学とMBA課程を設置した大学の1校であり、現在アメリカ・オクラホマ大学とのMBA課程は14期目を迎えている。女子バスケットチームは全国大会で名を馳せる強豪。

特色

午前中は同大中国語の授業週20コマ(1コマ45分。1日4時限)を履修し、午後は英語の授業を単独班または中国人クラスで受講する。中国語クラスで上のクラスにはビジネス中国語の授業がある。また、有料の選択科目(書道、太極拳など多数)がある。授業はすべて中国語で行われる。中国語のレベルがあれば、中国人学生の選択科目の授業を5科目まで受講することができる(学費不要)。漢語クラスは基礎班(1クラス)、初級(1クラス、目標HSK4級)、中級(1クラス、目標HSK5級)、高級(1クラス、目標HSK6級)に分かれる。

宿泊

大学寮2人部屋。共同の洗濯機、キッチン(冷蔵庫、電子レンジ)、レストランがあり、また各部屋にはエアコン、電話、テレビ、シャワー、トイレなどの設備がある。

生活

静かで落ち着いた環境。キャンパス内に天津銀行、売店、レストラン、郵便局などがある。最寄駅は地下鉄1号線の「财经大学」駅。また付近に複数のバス路線がある。中国銀行(学外、約0.3km)では外貨の送入金、両替ができる。大学付近に大型スーパーと市場がある。体育館、スポーツジム、プール、コンピュータールームなどは随時開放されていて自由に使える。日本語学科の学生との交流もでき、中国人学生の交流会などにも参加できる。

条件

中国語専攻: 中国語基礎演習ⅢまたはⅣを修了していること。
他専攻: 中国語Ⅲまたは中国語Ⅳを修了していること。

留学時期

原則として、2年次第2学期もしくは3年次第1学期(半年間)。

一生ものの経験

外国語学部中国語専攻 2015年留学 関 優日

私は3月から7月まで天津财经大学に留学しました。三年の前期に留学しようと思った理由は日本人が少ない環境で勉強をしたかったからです。

まず、学習状況についてです。授業内容は読解、総合中国語、リスニング、会話、作文、HSK五級の6種類とそのほかに私は英語の授業も取っていました。そのため週に11コマ中国語の授業と2コマ英語の授業がありました。英語の授業は本科生(外国人)と一緒に受けていたので交流の幅が広がり、また彼らの中国語のレベルがとても高かったのでいい刺激を受けながら勉強に励むことができました。

次に寮についてです。二人一部屋で、私のルームメイトはロシア人でした。寮での生活は本当に楽しく毎日友達とお喋りしたり一緒にご飯を作ったりしていました。寮内の日本人は私しかいなかったの、日本語を話す機会が全くなく、語学を勉強する環境としては最高だと思っています。

次に学校行事についてお話しします。财经大学は一学期に二回留学生同士が親睦を深めるイベントがあります。今学期は天津の万理の長城と動物園に行きました。他にも今学期はスピーチコンテストが開催されました。持ち時間やテーマは自由だったので私は自分で一から原稿を

作成し、できたら先生に添削してもらおう、といった形で準備をしていました。参加する学生は1か月前から準備を始めるということもあって、完成度はとても高いです。私はこのスピーチコンテストで3位になることができました。このようなコンテストに参加するのは初めてだったので最初は不安でしたが、先生の熱いサポートやクラスメイトみんなの応援のおかげで良い成績を残すことができました。

次に私が留学で学んだことをお話ししたいと思います。まずは中国語のスキルアップ、特に会話の能力はとても伸びたと思います。麗澤大学では主に訳や書くこと中心の授業が多く、天津财经大学では主に会話やリスニングを中心とした授業が多いように感じました。授業以外でも毎日中国語で友達と会話をしていたのでその影響も受けていると思います。次に異文化を知る楽しさを学びました。様々な国の学生と交流し、会話していく中でやはり価値観の違いや文化の違いで壁ができてしまうことが多々あります。でも「その人、その国を理解したい!」という気持ちさえあれば異文化はそんなに難しい問題ではないと思います。逆に理解が深まることも多々あり、物事を考える視野も広げることができます。この留学で得たものは今後の私の勉強に対するモチベーションや人生にとっても大きな影響を与えてくれることは間違いありません。

留学してから自分が日本人であることがとても誇らしく思うようになりました。私の友達は皆日本に対して良いイメージを持っていて、また日本を愛してくれています。中国人も実際日本をすごくほめてくれ、ある中国人は「国と国とはギクシャクしているかもしれないけど、私たち人々との間には何の問題もないんだよ」と笑顔で言ってくれました。その言葉はとても重く、私の心に残る大切なものになりました。

最後に今回この留学で出会った先生、支えてくれた家族と麗澤の先生、道端で気軽にしゃべりかけてくれた中国の人々、そして一緒に日々を過ごした友達にとても感謝しています。ありがとうございました!